

PRIMERGY BX400 S1

マネジメントブレード・コネクシオンブレード

接続手順書(SM CLP)

2010年12月 富士通株式会社

● 目次

| | |
|--|---|
| 1. 本書について..... | 2 |
| 2. 注意事項..... | 2 |
| 3. コネクシオンブレードへのコンソールリダイレクション接続..... | 2 |
| 4. コネクシオンブレードのポーリング設定..... | 3 |
| 5. ファイバーチャネルスイッチブレードのイーサネットポートの接続設定..... | 6 |

1. 本書について

本書は、PRIMERGY BX400 S1 ブレードサーバシステムにおいて、ターミナルソフトウェアまたは Telnet や SSH を使用してマネジメントブレード経由でコネクションブレードに接続する作業手順について記載しています。

各コネクションブレード取扱説明書内では、BX900 S1 でのマネジメントブレード経由でのコネクションブレード CLI 接続の方法が記載されていますが、BX400 S1 でコネクションブレードをご使用になる場合は、本手順を参考に実施してください。

2. 注意事項

BX400 S1 ブレードサーバシステムのマネジメントブレードは BX900 S1 でサポートされているマネジメントブレードの CLI は未サポートであり、SM CLP を使用する必要があります。

3. コネクションブレードへのコンソールリダイレクション接続

- 1) マネジメントブレード SM CLP にログインします。
(下記画面は Telnet を使用した場合です。)

```
Welcome to Management Blade 6.XX
<Username>:admin
<Password>:*****
```

※デフォルトパスワードは「admin」です。

マネジメントブレードのインターフェースへの接続方法に関する詳細は「PRIMERGY BX400 ブレードサーバシステム ServerView マネジメントブレード S1 ユーザインターフェースの説明書」等のマニュアルを参照してください。

- 2) 次のようなプロンプト画面が表示されるので、「cd ConsoleRedirection」と入力して【Enter】キーを押してください。

```
Fujitsu (TM) Management Blade
Version 6.XX
Copyright 2009 Fujitsu, Inc. All rights reserved.

</OemFujitsuSiemens> BX400S1 ->cd ConsoleRedirection
status = 0
status_tag = COMMAND COMPLETED

</OemFujitsuSiemens/ConsoleRedirection> BX400S1 ->
```

- 3) 「</OemFujitsuSiemens/ConsoleRedirection> BX400S1 ->」というプロンプトが表示されるので、「set ConsoleRedirectionTo=CBX」(X は CB の番号=1,2,3,4)を入力して【Enter】キーを押してください。
※PRIMERGY InfiniBand スイッチブレード(40Gbps 18/18) (PG-IBS101)を CB3, CB4 に搭載する場合は「CB3」を指定してください。

(下記画面は CB1 に接続する場合の例です。)

```
</OemFujitsuSiemens/ConsoleRedirection> BX400S1 -> set ConsoleRedirectionTo=CB1
Press <Ctrl+Q> Return Console Menu
```

- 4) 【Enter】キーを再度押すとコネクシオンブレードのコンソールリダイレクション画面が表示されます。以上でコンソールリダイレクションへの接続は完了しました。コンソールリダイレクションから戻る場合には【Ctrl】+【Q】キーを押してください。

4. コネクシオンブレードのポーリング設定

マネジメントブレードは各コネクシオンブレードの情報を取得するために、コネクシオンブレードの種類に応じて、「Username」と「Password」、「EnablePassword」を設定する必要があります。デフォルトでは、各コネクシオンブレードのデフォルトのユーザー名、パスワードが設定されています。各コネクシオンブレードの設定を変更した際は、マネジメントブレードの設定も変更する必要があります。

本設定をマネジメントブレード Web ユーザーインターフェースで設定する場合は、「PRIMERGY BX400 ブレードサーバシステム ServerView マネジメントブレード S1 ユーザーインターフェースの説明書」等のマニュアルを参照してください。

マネジメントブレード SM CLP を使って設定変更を行う場合は、次の手順で行ってください。

- 1) マネジメントブレード SM CLP にログインします。
(下記画面は Telnet を使用した場合です。)

```
                                Welcome to Management Blade 6.XX
<Username>:admin
<Password>:*****
```

※デフォルトパスワードは「admin」です。

マネジメントブレードのインターフェースへの接続方法に関する詳細は「PRIMERGY BX400 ブレードサーバシステム ServerView マネジメントブレード S1 ユーザーインターフェースの説明書」等のマニュアルを参照してください。

- 2) 次のようなプロンプト画面が表示されるので、「cd ConnectionBladeX」(X は CB の番号=1,2,3,4)と入力して【Enter】キーを押してください。
※PRIMERGY InfiniBand スイッチブレード(40Gbps 18/18) (PG-IBS101)を CB3, CB4 に搭載する場合は”ConnectionBlade3”を指定してください。

(下記画面は CB1 に接続する場合の例です。)

```
Fujitsu (TM) Management Blade
Version 6.XX
Copyright 2009 Fujitsu, Inc. All rights reserved.

</OemFujitsuSiemens> BX400S1 -> cd ConnectionBlade1
status = 0
status_tag = COMMAND COMPLETED

</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade1> BX400S1 ->
```

- 3) 「</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade1> BX400S1 ->」というプロンプトが表示されるので
「set ConnectionBladeLoginUserName="<username>"」
(<username>は対象コネクシオンブレードのユーザー名)
を入力して【Enter】キーを押してください。

(下記画面はユーザー名を "admin" に設定した場合です。)

```
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade1> BX400S1 -> set ConnectionBladeLoginUserName="admin"  
in check_user_connectionblade_permission ==>r_value=1  
status = 0  
status_tag = COMMAND COMPLETED  
  
ConnectionBladeLoginUserName = admin  
  
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade1> BX400S1 ->
```

- 4) 同様に、「set ConnectionBladeLoginPassword="<password>"」
「set ConnectionBladeEnablePassword="<enablepassword>"」
(<password>はユーザー名に対応するコネクシオンブレードのログインパスワード、
<enablepassword>はユーザー名に対応するコネクシオンブレードの Enable パスワード)
を設定します。

(下記画面はログインパスワードを "admin"、Enable パスワードを "epas" に設定した場合です。)

```
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade1> BX400S1 -> set ConnectionBladeLoginPassword="admin"  
in check_user_connectionblade_permission ==>r_value=1  
status = 0  
status_tag = COMMAND COMPLETED  
  
ConnectionBladeLoginPassword = admin  
  
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade1> BX400S1 -> set ConnectionBladeEnablePassword="epas"  
in check_user_connectionblade_permission ==>r_value=1  
status = 0  
status_tag = COMMAND COMPLETED  
  
ConnectionBladeEnablePassword =  
  
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade1> BX400S1 ->
```

- 5) 「show」と入力、【Enter】キーを押すことにより、設定確認を行います。

```
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade1> BX400S1 -> show
status = 0
status_tag = COMMAND COMPLETED

/OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade1
  Targets
    Port
      Interface
        Properties
          ConnectionBladeStatus = ok
          ConnectionBladeManufacture = FUJITSU
          ConnectionBladeManufactureDate = 04/14/2010 01:49:00
          ConnectionBladeSerialNumber = SQ1015LW00229
          ConnectionBladeProductName = PY CB Eth Switch/IBP 1Gb 36/12(Mode:Switch)
          ConnectionBladeModelName = A3C40096531
          ConnectionBladeHardwareVersion = 01
          ConnectionBladeFirmwareVersion = 1.10
          ConnectionBladeConnectionPortWwnAddress = N/A
          ConnectionBladeConnectionPortDomainId = N/A
          ConnectionBladeConnectionPortSettingDomainId = N/A
          ConnectionBladeConnectionPortSet = N/A
          ConnectionBladeManagementPortMacAddress = C8:0A:A9:32:DB:0A
          ConnectionBladeManagementPortDhcpClientName = BX400S1Q00022-CB1
          ConnectionBladeManagementPortSettingIpAddress = 0.0.0.0
          ConnectionBladeManagementPortSettingIpMode = DHCP
          ConnectionBladeManagementPortSettingDhcpClientName =
          ConnectionBladeManagementPortSettingNetMask = 0.0.0.0
          ConnectionBladeManagementPortSettingGatewayAddress = 0.0.0.0
          ConnectionBladeManagementPortNetSet = disable
          ConnectionBladeCtrlStateLed = off
          ConnectionBladeCtrlReboot = disable
          ConnectionBladePeriodPolling = disable
          ConnectionBladeLoginUserName = admin
          ConnectionBladeLoginPassword = *****
          ConnectionBladeEnablePassword = *****
          EkeyStatusPortOverview = 0xFFFFFFFF
          ConnectionBladeAssetTag = N/A
          ConnectionBladePortGroup1Speed = N/A
          ConnectionBladePortGroup2Speed = N/A
          ConnectionBladePortGroup3Speed = N/A
          ConnectionBladePortGroup4Speed = N/A
        Verbs
          cd reset show

</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade1> BX400S1 ->
```

- 6) 以上でポーリングに対する設定は完了しました。
終了する場合には「exit」を入力して【Enter】キーを押してください。

5. ファイバーチャネルスイッチブレードのイーサネットポートの接続設定

ファイバーチャネルスイッチブレードは、管理用のイーサネットポートをマネジメントブレードの管理用 LAN に接続し使用する内部接続か、スイッチに用意された外部ポートを使用する外部接続に設定することができます。ブレードサーバに搭載して使用する場合は内部接続を使用することを推奨します。

本設定をマネジメントブレード Web ユーザーインターフェースで設定する場合は、「PRIMERGY BX400 ブレードサーバシステム ServerView マネジメントブレード S1 ユーザーインターフェースの説明書」等のマニュアルを参照してください。

マネジメントブレード SM CLP を使って設定変更を行う場合は、次の手順で行ってください。
(本手順では内部ポートに設定する場合の例を示します。)

- 1) マネジメントブレード SM CLP にログインします。
(下記画面は Telnet を使用した場合です。)

```
Welcome to Management Blade 6.XX
<Username>:admin
<Password>:*****
```

※デフォルトパスワードは「admin」です。

マネジメントブレードのインターフェースへの接続方法に関する詳細は「PRIMERGY BX400 ブレードサーバシステム ServerView マネジメントブレード S1 ユーザーインターフェースの説明書」等のマニュアルを参照してください。

- 2) 次のようなプロンプト画面が表示されるので、「cd ConnectionBladeX」(X は CB の番号=1,2,3,4) と入力して【Enter】キーを押してください。

(下記画面は CB4 に接続する場合の例です。)

```
Fujitsu (TM) Management Blade
Version 6.XX
Copyright 2009 Fujitsu, Inc. All rights reserved.
</OemFujitsuSiemens> BX400S1 -> cd ConnectionBlade4
status = 0
status_tag = COMMAND COMPLETED
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4> BX400S1 ->
```

- 3) 「</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4> BX400S1 ->」というプロンプトが表示されるので「cd Interface」を入力して【Enter】キーを押してください。

```
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4> BX400S1 -> cd Interface
status = 0
status_tag = COMMAND COMPLETED
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4/Interface> BX400S1 ->
```

- 4) 設定を確認するため「show」を入力して【Enter】キーを押してください。

```
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4/Interface> BX400S1 -> show
status = 0
status_tag = COMMAND COMPLETED

/OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4/Interface
  Properties
    ConnectionBladeUserAssignedName = BX900S1xxxxx-CB7
    ConnectionBladeAdministrativeUrl = http://192.168.1.100/
    ConnectionBladeStackingStatus = N/A
    ConnectionBladeInterSwitchLink = N/A
    ConnectionBladeManagementPortIpMode = NO-DHCP
    ConnectionBladeManagementPortIpAddress = 192.168.1.100
    ConnectionBladeManagementPortNetMask = 255.255.255.0
    ConnectionBladeManagementPortGatewayAddress = 192.168.1.1
    ConnectionBladeMode = Switch
    ConnectionBladeEthernetManagementPortControl = Internal Port
  Verbs
    cd show

</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4/Interface> BX400S1 ->
```

- 5) 「ConnectionBladeEthernetManagementPortControl」の値が「Internal Port」の場合はそのままの設定でお使いください。「External Port」の場合は「set ConnectionBladeEthernetManagementPortControl=Internal」と入力、【Enter】キーを押して設定を変更してください。その後、「show」を入力、【Enter】キーを押して再度設定を確認してください。

```
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4/Interface> BX400S1 -> set ConnectionBladeEthernetManagementPortControl=Internal
in check_user_connectionblade_permission ==>r_value=1
status = 0
status_tag = COMMAND COMPLETED

ConnectionBladeEthernetManagementPortControl = Internal

</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4/Interface> BX400S1 -> show
.....
      ConnectionBladeEthernetManagementPortControl = Internal Port
.....
```

- 6) 以上でイーサネットポートの接続に対する設定は完了しました。終了する場合には「exit」を入力して【Enter】キーを押してください。

以上